

# 日本応用心理学会第 78 回大会案内 (大会通信)

## ご挨拶

本年 3 月 11 日午後 2 時 46 分、マグニチュード 9.0 の巨大地震が東北地方太平洋沖で発生し、直後の大津波による被害も加わり、宮城県、岩手県、福島県の東北地方東海岸に未曾有の大災害が発生しました。その後の余震も含めて、被害は関東地方にまで及んでいます。さらに福島県では、原子力発電所に二次的事故が発生して、放出される放射線を避けるための避難が続いています。被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

第 78 回大会は、信州大学人文学部(松本市)で開催させていただくことになりました。開催日程は、例年のごとく第 2 週の土曜日と翌日の日曜日、本年 9 月 10 日(土)～11 日(日)となります。大会のテーマは特に設けておりませんが、大会企画シンポジウムとして、第 1 に、現代社会の問題となっている若者のいわば新ナルシズムを取り上げます。超常現象などにのめり込む若者、淡々とした恋愛行動に終始する草食型の若者、趣味の世界では熱心に取り組むのに入社できない若者たちは、他者や社会と積極的に関わることなくナルシストとして生きることを選んでいるかのように見えます。新進気鋭の若手研究者を話題提供者とする予定です。第 2 には、地方における大会開催ということで、車を運転することなく暮らすのは難しい高齢者の交通問題について取り上げます。高齢者は、運転者としてだけでなく、歩行者としても多くの問題を抱えています。交通問題に関しては男性の研究者が多く、これまでの報告は男性の視点によるものが多かったといえます。そこで今回は、企画者も話題提供者も指定討論者も、全員女性とする予定です。

特別講演は、東日本大震災についての講演を検討しております。大震災直前に、千年前にも同規模のものが存在したことが一部の研究者によって発見されていましたが、ほとんどの人々にとっては想定外の規模でした。

他方、会員の皆様による自主企画ワークショップについては、研究者や実務家の交流の場にしたいと考えております。個人発表では、口頭発表とポスター発表の両方の形式を考えております。大学院生・研究生の若手の皆様には、発表費用、ワークショップ経費補助等の支援制度があります。応用心理士会の研修 2 件につきましては、例年通り、初日と 2 日目にそれぞれ開催します。

なお、開催地松本は山岳観光の基地として知られており、人文学部のある松本キャンパスの標高は 650 メートルです。大学のすぐ近くにも浅間温泉をはじめとする美ヶ原温泉郷があります。観光名所が多く、開催直前には音楽祭もあり、多くの観光客が訪れます。ホテル等の予約は早めにすませてください。

皆様をお迎えする人文学部心理学教室と社会心理学教室は学生数が少なく、十分なおもてなしはできませんが、心理学教室の今井 章教授、高瀬弘樹准教授、社会心理学教室の長谷川孝治准教授(事務局長)、清水健司准教授(副事務局長)ともども精一杯勤めさせていただきます。皆様多数の参加をお待ちしております。

日本応用心理学会第 78 回大会委員長  
内藤 哲雄

大会通信には、この大会案内とともに以下を同封いたしましたので、ご確認ください。

- ① 会員番号・パスワード記載カード
- ② 大会参加・研究発表申込について
- ③ 大会参加・研究発表申込書(郵送用)
- ④ 発表論文集原稿作成要領(WEB と郵送共通)

### 【1】会期・会場

会期：2011 年 9 月 10 日(土)～11 日(日)

会場：信州大学松本キャンパス 〒390-8621 長野県松本市旭 3-1-1

大会委員長：内藤哲雄 事務局長：長谷川孝治 副事務局長：清水健司

### 【2】主要プログラム

- (1) 研究発表(ポスター発表・口頭発表)
- (2) 大会企画シンポジウム
- (3) 自主企画ワークショップ
- (4) 特別講演
- (5) 総会
- (6) 企画委員会企画「第 10 回研修会 A・B」
- (7) 懇親会

### 【3】研究発表の形式と要件

#### (1)発表の形式

- ① ポスター発表

発表者は、指定時間中に割り当てられた位置にポスターを掲示してください。ポスターセッション全体の時間は 2 時間で、発表者の在席責任時間は前半または後半の 1 時間です。

## ② 口頭発表

発表者1名の持ち時間は、20分（発表15分・質疑応答5分）です。

### (2)発表の要件

研究発表は、大会発表論文集への論文掲載、大会当日の研究発表、質疑・討論への参加の3つの条件を満たすことによって、公式に認められます。連名発表者も討論に参加することが必要です。

## 【4】研究発表の発表資格

### (1)責任発表者（正会員・名誉会員・終身会員）

- ① 本学会の正会員・名誉会員・終身会員のいずれかであり、正会員は2011年5月31日（火）までに2011年度年会費を納入していること。
- ② 「大会参加・研究発表申込」の手続きを、6月10日（金）までに行っていること。また、「発表論文集原稿」の投稿の手続きを、6月21日（火）までに行っていること。
- ③ 送付された振込用紙（請求書）を用いて、大会参加費・研究発表費を2009年6月28日（火）までに納入していること。
- ④ 研究発表の責任発表者になれるのは1人1回限りであること。なお、責任発表者が、他の研究発表の連名発表者、およびワークショップの企画者・発表者（話題提供者・指定討論者）になることは差し支えありません。
- ⑤ 大学院生の会員は、発表申し込み手続きと同時に、大会受付事務局まで学生証のコピーを送付すること。

### (2)連名発表者（正会員・名誉会員・終身会員・学生会員）

- ① 本学会の正会員・名誉会員・終身会員・学生会員のいずれかであり、正会員・学生会員は2011年5月31日（火）までに2011年度会費を納入していること。
- ② 当該発表について、責任発表者と共同で研究したものであり、大会当日研究発表の質疑・討論に参加できること。
- ③ 「大会参加・研究発表申込」の手続きを、6月10日（金）までに行っていること。
- ④ 送付された振込用紙（請求書）を用いて、大会参加費・研究発表費を2011年6月28日（火）までに納入していること。
- ⑤ 2つ以上の研究発表において連名発表者となることは認められています。
- ⑥ 大学院生・学部学生の会員は、発表申し込み手続きと同時に、大会受付事務局に学生証のコピーを送付すること。

### (3)連名発表者（非会員）

- ① 当該発表について、責任発表者と共同で研究したものであり、大会当日研究発表の質疑・討論に参加できること。
- ② 発表責任者は、「大会参加・研究発表申込」の手続きにおいて非会員が連名発表者となっていることを届け出ること。また、非会員に大学院生・学部生が含まれている場合には、責任発表者は、該当者の学生証のコピーを大会受付事務局まで送ること。
- ③ 責任発表者は、送付された振込用紙（請求書）を用いて、非会員の大会参加費・研究発表費を2011年6月28日（火）までに納入していること。
- ④ 非会員であっても2つ以上の研究発表において連名発表者になることは認められています。

今後の予定	WEB・郵送とも
1. 発表資格のための入会申込み締め切り	5月31日（火）
2. 発表資格のための年会費納入期限	5月31日（火）
3. 大会参加・研究発表申込み締め切り	6月10日（金）24時*
4. 論文集原稿締め切り	6月21日（火）24時*
5. 大会参加費・研究発表費・論文集代の前納期限	6月28日（火）
6. 懇親会費・研修会費の前納期限	6月28日（火）
7. プログラム・論文集・予約参加証の送付	8月中旬

\*郵送は消印有効

## 【5】入会の方法

会員として研究発表を希望される場合は2011年5月31日（火）までに日本応用心理学会事務局に入会申込書を送り、入会審査を受け、承認されることが必要です。入会申込書は、下記の日本応用心理学会事務局にご請求ください。学会ホームページ（URL：<http://wwwsoc.nii.ac.jp/jaap/>）からもダウンロードできます。

## 【6】自主企画ワークショップ

- ① 持ち時間は100分または120分を予定しています。
- ② ワークショップ企画者は正会員に限ります。企画者の方は、研究発表と同様にWEBまたは郵送にて大会受付事務局までお申し込みください。締め切り等も研究発表と同一です。
- ③ 企画者には、企画費を納入していただきます。費用の納入期限、原稿の締め切り期限などはすべて、研究発表の責任発表者に準じます。【4】「研究発表の発表資格」の(1)項をご参照ください。
- ④ 話題提供者・指定討論者は非会員でも結構ですが、【4】「研究発表の発表資格」の(3)項のとおり、企画者には、非会員の大会参加費・発表費を納入していただきます。会員の場合は、【4】「研究発表の発表資格」の(2)項のとおり、ご自身で大会参加の申し込みをし、大会参加費を納入していただきます。
- ⑤ 企画者の方には、司会をしていただきます。
- ⑥ ワークショップでは、発表論文集への要旨掲載、大会当日の開催、話題提供者・指定討論者の質疑・討論への参加が必要です。なお、申込件数が多い場合は、提出された発表論文などをもとにこちらで検討をさせていただきます。お受けできない場合には、企画費はお返します。
- ⑦ ワークショップを複数申し込むことはできません。

## 【7】大会企画シンポジウム

テーマ「高齢者の交通問題」 [1日目]  
企画・司会者：垣本由紀子（立正大学）

テーマ「現代社会の若者」 [2日目]  
企画・司会者：内藤哲雄（信州大学）

## 【8】企画委員会企画「日本応用心理学会第10回研修会」

- ①研修会A 講師 大橋信夫（労働科学研究所） [1日目]  
テーマ「独居高齢者への社会的支援  
ーノルウェーの農漁村における現地調査からー」  
司会 河内和直（群馬医療福祉大学）
- ②研修会B 講師 木村友昭（エム・オー・エー健康科学センター） [2日目]  
テーマ「QOLとスピリチュアリティの評価法」  
司会 伊坂裕子（日本大学）

## 【9】特別講演 [1日目]

テーマ「東日本大震災から学ぶもの」を企画中です。

## 【10】理事会及び総会

- ① **理事会**：大会前日の夕方に開催いたします。理事の皆様はご出席いただきますようお願いいたします。会場および時間は下記のとおりです。  
2011年9月9日（金） 信州大学人文・経済学部校舎6階人文学部会議室にて 15:00～17:00
- ② **総会**：大会1日目の昼休みに開催いたします。重要な議題が予定されていますので会員の方はご出席いただきますようお願い申し上げます。総会では昼食をご用意いたしております。
- ③ **常任理事会**：大会2日目の昼休みに開催いたします。

## 【11】懇親会

大会1日目の18:30から、松本駅に近いホテル・ブエナビスタ（〒390-0814 松本市本庄 1-2-1 TEL 0263-37-0111 松本駅お城側出口より徒歩5分）にて開催する予定です。会員の皆様のご参加をお待ちいたしております。また、会員の同伴者の参加も歓迎いたします。当日受付もありますが、準備の都合がございますので予約をお願いいたします。

## 【12】申し込み要領

第78回大会の申し込みは、郵送とWEBの2通りです。どちらか一方の手続きを選択してください。

### 【13】大会関係の諸経費

大会関係の諸費用には「予約納入」および「当日納入」があります。それぞれの金額は下記の表のとおりです。「予約納入」とは、所定の手続きをへて、2011年6月28日(火)までに納入された場合の金額です。振込用紙(請求書)は、申し込みをされた方に適宜送付いたします。2011年6月28日(火)までにお払込みください。

大学院生(研究生を含む)・学部学生は学生証のコピーを大会受付事務局まで送付してください。お送りいただけない場合、大学院生・学部学生用の料金が適用されません。脚注の各種若手研究者支援制度もご覧ください。

非会員の方が連名発表者にいる場合には「大会参加費」「研究発表費」を会員である責任発表者の方へ請求いたします。非会員が大学院生・学部学生の場合には、責任発表者は、該当者の学生証のコピーを大会受付事務局まで送付してください。なお、現在非会員の方も、2011年5月31日(火)(消印有効)までに日本応用心理学会事務局に入会申込書を送り、入会審査を経て承認されると、正会員として参加・発表できます。

会員・非会員共に複数の研究発表において発表者となる場合は、重複して「研究発表費」をお支払いいただく必要はありません。

なお、研究発表者、自主企画ワークショップ発表者には発表論文集を一冊お送りいたします。

#### 大会関係諸費用一覧

(単位：円)

		正会員		非会員	
① 大会参加費	予約	一般・終身	5,000	一般	6,000
		大学院生・学部学生	2,000	大学院生・学部学生	3,000
	当日	一般・終身	6,000	一般	7,000
		大学院生・学部学生	3,000	大学院生・学部学生	3,500
② 研究発表費	前納	一般・名誉・終身	5,000	一般	10,000
		大学院生・学部学生 (学生証コピー有補助 -3,000)	3,000	大学院生・学部学生	8,000
③ 自主企画 ワークショップ	前納	一般	5,000		
		大学院生・学部学生	3,000		
④ 論文集代	予約		5,000		
	当日		6,000		6,000
	機関		8,000		8,000
⑤ 懇親会費	予約	一般・終身	7,000		
		大学院生・学部学生	3,000		
		同伴者	5,000		
	当日	一般・終身	8,000	一般	8,000
大学院生・学部学生		4,000	大学院生・学部学生	4,000	
同伴者		5,000	同伴者	5,000	
⑥ 研修会費	予約		500		
	当日		1,000		1,500

注1) 大学院生・研究生への補助(今年度から手続きが変更になっております!)：1)発表申込書と合わせて学生証コピーを、大会受付事務局(国際文献印刷)に郵送すると、表の②欄の研究発表費の支払いが不要となります。社会人入学の場合も同じ。

2) また、正会員の院生・研究生が、自主企画ワークショップの企画・立案者となり、かつ発表者の半数以上が正会員の院生・研究生の場合には、大会当日「若手研究者支援委員会受付」で、その企画責任者に補助金2万円が支給されます。

3) 非会員(院生・研究生・学部生)の大会当日参加・特別優遇措置：正会員が、非会員である院生・研究生・学部生を伴って大会当日に参加する場合は、その院生・研究生・学部生の大会参加費を一人につき2千円補助します。この場合、当該正会員は、非会員の院生・研究生・学部生とともに「若手研究者支援委員会受付」に来て、非会員の学生諸氏は学生証を提示してください。

**4) 大会当日の「若手研究者支援委員会受付」は時間が決まっておりますのでご注意ください。**

注2) 名誉会員の方は、会員総会および懇親会にご招待いたします。また、大会参加時には発表論文集が贈呈されます。ただし、研究発表をされる場合には研究発表費、研修会に参加される場合には研修会費をいただきます。

### 【14】大会についてのお問い合わせと連絡先

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場4-4-19 (株)国際文献印刷社内  
日本応用心理学会第78回大会受付事務局  
FAX 03-3368-2827 E-mail : jaap-desk@bunken.co.jp  
URL : <http://www.wdc-jp.biz/jaap/ps78/jp/>